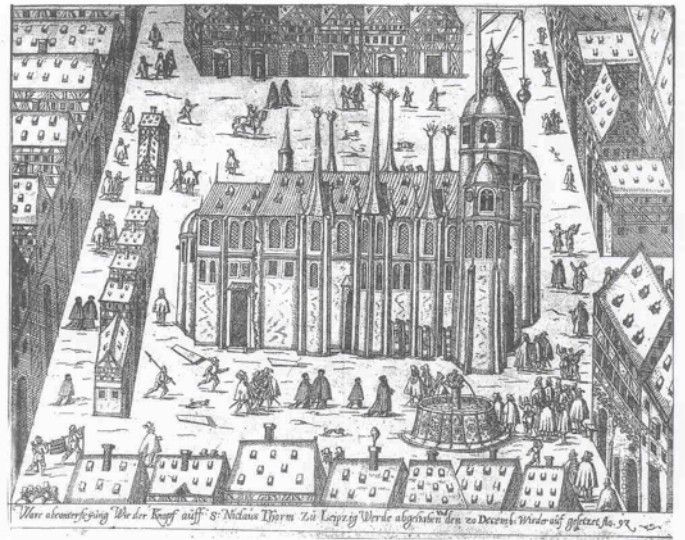


カンタータつき礼拝とコンサート

バッハの教会カンタータは、礼拝の中で演奏されるために、その日の聖書の主題に合わせてつくられたものです。カンタータは聖書のみ言葉を伝える上で大きな働きをしていました。

さて、神戸聖愛教会では、テノールの片野耕喜氏をお招きしてテノールのソロカンタータを伴った礼拝をいたします。どうぞお誘い合わせご出席ください。また、礼拝後にはコンサートをを行います。こちらにもどうぞおいでください。



Abnahme des Turmknopfes der Nikolaikirche, Holzschnitt, 1592

バッハのカンタータが演奏されたライプツィヒのニコライ教会

主日礼拝 2012年11月18日 午前10時30分より

J.S.Bach カンタータ第55番 BWV55 (三位一体後第22主日の日課による)

礼拝説教：「なんと惨めな！」 小栗 献 牧師

コンサート 11月18日 午後2時より

エマヌエーレ・ダストルガ／室内カンタータ<それは距離のみにあらず>

ヨハン・セバスチャン・バッハ／カンタータ第26番から<流れ走る水のごとく>

ゲオルク・フィリップ・テレマン／ターフェルムジークから四重奏曲 ト長調

アルカンジェロ・コレッリ／2台のヴァイオリンのためのトリオソナタ 第4番 ほか

片野耕喜 (テノール)

東京学芸大学、東京芸術大学大学院修士課程、ハンブルク音楽院、ブレーメン芸術大学古楽科を卒業・修了。在学中よりオラトリオ、バロック音楽などのソリストとして活動を始め、日本各地のコンサートに出演。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとしてバッハの録音に参加し、これまで『ヨハネ受難曲』や初期のカンタータ集でソロを歌う。同時にドイツ歌曲の研鑽を積み、東京などでドイツリートを中心とするリサイタルを数多く開いている。現在山梨大学教育人間科学部准教授。

石野 典嗣 (オーボエ)	大軒 由敬 (ヴァイオリン・チェロ)
岡崎 菜佳子 (チェンバロ)	小栗 献 (フラウト・トラヴェルソ)
小淵 晶男 (ヴァイオリン)	三沢 栄一 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)
山際 新 (ヴィオラ)	